

オーラル・コミュニケーションに役立つ教材研究 学習者の創造性を生かして

池 内 武

1. はじめに

国際化の波に対応し、高等学校の英語教育の現場にも1994年度からオーラル・コミュニケーション(OC)A・B・Cという新たな教科科目が導入された。聞いたり話したりする能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることを目標としている。これにより、卒業までに少なくとも2単位のOC科目の履修が、義務づけられることになった。

それを受けて、教科書等の教材発行者は、オーラル・コミュニケーションに適した様々な教材の研究と開発を進めてきた。現場の教育担当者もまた、それらの業者から提供される山と積まれたOC教材の中から、次年度の教材選定に大いに頭を悩ませる。科目の内容は、学習者の習熟度や興味関心事に合っていないなければならない。どんなに立派な教材であっても、学習者の習熟度と開きがあり過ぎたり、彼らの興味を喚起するものでなければ、十分な成果は得られないのだ。

ところで、コミュニケーション能力の育成は、OC科目のみに求められているのではない。他の英語科目でも、学習事項やその内容に応じて、コミュニケーションを目的とした指導が適宜行われているし、そのような指導が近年ますます期待されてもいる。

それらの状況を踏まえ、今や、学力をも含めた生徒の実態を、もっとも良く把握している現場の教師による小回りのきく教材開発が、大いに望まれているのではないだろうか。英語教育の歴史において、その時々時代とニーズに合った様々な教授法がもてはやされてきた。だが、人間を対象とし、学習目的や教材内容に応じて柔軟な対応を迫られる現代の一般英語教育においては、特定の教授法に固執するのではなく、それぞれの教授法を正しく評価した上で、その長所を生かせばよいと思われる。

担当する生徒の興味関心事等を考慮に入れ、その都度、有効な教授法を取り入れた特色ある教材を教師自らが開発すれば、一段と大きな教育成果が得られるのではないか。そのためにも、教材作成を業者任せにせず、個々の教育現場を預かる教師自らの手で作れば、

その指導効果も絶大であろうと考えられるのである。

2. 学習者の興味関心事

学習者はいったい何に興味を持っているのだろうか。英語を使ってどんなことをしてみたいのだろうか。それを知るために、1991年に高松第一高等学校の一年生の4クラスで、13項目の興味関心事についてアンケート調査をしたことがある。その結果、次に挙げる希望順位が明らかになった。

1. 外国旅行
2. 外国での生活
3. 洋画鑑賞
4. 読書
5. 英会話
6. 文通
7. 英語の授業を受ける
8. 演劇鑑賞
9. 英語放送を聞く
10. 文章を書く(創作)
11. 翻訳研究
12. 演劇上演
13. 弁論大会出場

(その他の項目として“音楽鑑賞と歌うこと”をあげた生徒がいた。その人数から判断すると14番目の順位に相当するが、アンケート項目に最初から入れておけば、順位は上がっていたかもしれない。)

“読書”が4番目、“英語の授業を受ける”が7番目に入っているのが、少し意外な感じがしないでもないが、“読書”には推理小説等を例にあげておいたので、興味をそそられたのかもしれない。また、“英語の授業を受ける”については、英語という外国語に対する興味や知識欲の表れとも評価できるし、後の項目の中に積極的に希望するものがなかったとも受け取れる。全体的にみると、欧米文化に対する関心が強く、そのあとに言語に対する関心が続くようだ。

いずれにしても、希望項目の一番目と二番目とを見る限り、未知の文化や人間に対する強い興味と好奇心が窺える。この傾向は、アンケート調査から幾年か経た今日でも、強まりこそすれ、決して弱まってはいないと言えよう。以前にも増して国際化が進み、日本の海外旅行者や在住者が増加しているからである。

3. 旅行英会話対話集を使って

筆者は、学習者の興味関心事を考慮に入れ、アンケート調査の一番目にランクされた“外国旅行”を舞台にした幾つかの場面を取り上げて、英文による対話(ダイアローグ)を作った。それは、実際に旅先で遭遇するかもしれない特定の状況下で、英語という言語

を使って、いかに対応・対処するかをダイアログ形式の例にまとめたものである。さらに、それらを使って“状況想定方式発話学習”というのを考案して、Developing the Speaking Skill in Large Classes through Writing (1992) という論文に活かした。論文の要旨は、「書くこと」の適切な活用によって、多人数学級においても「話すこと」の代用となり、話す能力の育成につながる というものだが、詳細については、拙論をお読みいただければと思う。

そのときの研究では、教材として作成した対話は1つしか紹介できなかったもので、ここに改めて、研究授業で使用したものと使用しなかったものを合わせて11紹介する。

4. 対話集を使つての授業計画

この項では、のちに紹介する11の旅行対話を使つての授業計画の概要を示しておく。それぞれの授業内容は、1部と2部に分かれる。

4.1 授業(1部)

モノログ(一人の話し言葉)を書くための用紙を、学習者に与える。学習者が以下に紹介する方式に慣れてきて、変化を求めるようであればダイアログ(対話)を書かせてもよい。

1. 学習者に想定した状況の詳細(例:5.1.1)を与え、その状況においてどのように反応して発話するかを書かせる。作業に要する時間として、モノログでは4分から7分、ダイアログでは2倍くらいの時間を与える。時間は状況の難易度や学習者の能力レベル、あるいは彼らの作業の進展度合などによって変えてもよいが、話す代わりに書かせるのだから、その主旨を考慮して、
 - a) できるだけ早く考えて書かせるようにする。他の指導事項としては、
 - b) 想像力を自由に使わせる。
 - c) 文法や形式に拘らずコミュニケーションに重点を置かせる。
 - d) 知らない言葉は知っている他の言葉で代用あるいは説明させる。
2. 書いたものをクラスの皆の前で口頭発表させる。
3. 教師が一つの解答例(例:5.1.2)を口頭で示す。

4. 対話練習

学習者は自分たちが書いたものを参考にしてもよいが、できるだけ読まないようにする。

）教師対学習者

教師はネイティブ・スピーカーの役割を演じ、学習者の話す言葉に応じて、受け答えの言葉を変化させる。

）学習者ペアによる役割演技（ロールプレイング）

役割交替をさせる。

）学習者ペアによる即興劇の発表 - クラスの皆の前で。

4.2 授業（2部）

学習者が書いたり話したりしたことのフィードバック教材として、ダイアログを与える。

1. ダイアログ（例：5.1.3）を使っての学習

）教師によるダイアログについての説明

）教師の模範リーディング

）教師のリーディングのあとに学習者のリピート練習

2. トーク・アンド・リッスン カード（例：5.1.4）を使っての学習

）学習者のペア・ワーク（役割交替）

一人が“カードA”，もう一人が“カードB”を持つ。持っているカードには自分の台詞しか書かれていない。話すときには、互いの目を見るようにさせる。

）ペア・ワークの成果をクラスで発表。

5. 教材となる対話集

これから紹介する対話集のうちで、トーク・アンド・リッスン カード（TLカード）の掲載は5.1.4のみとし、あとは紙面の都合上割愛する。なお、状況想定の説明あるいは描写は、日本語でも英語でもよいが、学習者が想像力を働かせやすくするために、最初は日本語であるほうがよいと思われる。学習者の想像力を喚起し、実際にその場に居なくても居るような気持ちを起こさせる説明、あるいは描写が肝要である。

5.1 目的

ホテルでチェックインをする。禁煙室と喫煙室の区別を設けているのであれば、禁煙室にしてもらいたい。

5.1.1 状況想定

長い間憧れていたアメリカのサンフランシスコにやってきました。長い旅でしたが、やっとホテルに着きました。

ロビーが広く綺麗です。数人のアメリカの観光客がソファーにゆったりと腰掛けています。すらりとした金髪のお姉さんもいます。荷物が重いでしょうが、もう少しです。

フロントに行ってチェック・インをして下さい。

予約は既に日本でしてあります。予約は今晚だけです。予約にはあなたの名前を言う必要があります。もしあれば、禁煙室（=非喫煙室... 学習者に説明が必要）を申し込みたいと思っています。

さあ、ホテルの受付でどう言いますか。

5.1.2 Model Answer

I'd like to check in. My name is Takeshi Ikeuchi, and I made a reservation for tonight in Japan. If it's possible, I'd like to take a non-smoking room. If there are no such rooms available in this hotel, don't mind.

5.1.3 DIALOG - Checking into a hotel

Clerk : May I help you, sir?

Traveler : I'd like to check in.

Clerk : All right. Do you have a reservation?

Traveler : Yes. I made it in Japan. My name is Takeshi Ikeuchi.

Clerk : Let me check ... Yes. Mr. Ikeuchi. You are reserved for a single room for tonight. Would you fill out this form, please?

(looking at the traveler who has finished filling out the form)

All right. Would you like a smoking room or a non-smoking room?

Traveler : Non-smoking, please.
[I'll take a non-smoking room.]
[I'd like a non-smoking room.]
[It doesn't matter.]

5.1.4 TALK-AND-LISTEN CARD

[CARD A]

Clerk : May I help you, sir?
Traveler :
Clerk : All right. Do you have a reservation?
Traveler :
Clerk : Let me check . . . Yes. Mr. Ikeuchi. You are reserved for a single room for tonight. Would you fill out this form, please?
(looking at the traveler who has finished filling out the form)
: All right. Would you like a smoking room or a non-smoking room?
Traveler :

[CARD B]

Clerk :
Traveler : I'd like to check in.
Clerk :
Traveler : Yes. I made it in Japan. My name is Takeshi Ikeuchi.
Clerk :
Traveler : Non-smoking, please.
[I'll take a non-smoking room.]
[I'd like a non-smoking room.]
[It doesn't matter.]

5.2 目的

ホテルの部屋をかえてもらいたい。

5.2.1 状況想定

あなたはフロントで鍵を受け取りました。モーテルなので、ボーイは案内してくれませんが、自分で教えてもらった部屋を捜したあと、中に入ります。

あなたはその部屋を調べました。あまり綺麗な部屋とは言えませんが、料金からすると、そんなものでしょうか。バスルームを覗いてみると窓のところの鍵が壊れていました。直そうとしましたが直りません。よく見ると、錆びた釘が一本、鍵の代わりに打ち込まれているではありませんか。けれども、外から誰かが入ろうとすると簡単に入れるでしょう。不安に思い、部屋の中央に戻ってベッドに座ると、シーツは一度使ったものらしく、しわ寄せ、薄汚れています。

我慢できなくなり、部屋をかえてもらおうとフロントに行きます。さあ、何と言いますか。

5.2.2 MODEL ANSWER

Excuse me. I've just checked the room and found that the window in the bathroom cannot be locked. Besides, the sheets on the bed are not clean. Could you give me another room, please? [I'd like to change rooms, please.]

5.2.3 DIALOG - I'd like to change rooms.

Traveler : Excuse me. I'd like to change rooms, please.

Clerk : Is there anything wrong with the room?

[What seems to be the problem?]

Traveler : I found the locks on the windows broken and the sheets on the bed unclean.

Clerk : I'm terribly sorry. Let me see what we have . . .

OK, I can give you another room on the 2nd floor.

Traveler : All right.

Clerk : If there's any more inconvenience this time, please let me know.

5.3 目的

誤ってホテルの部屋のドアをロックしてしまった。部屋に入って鍵とパスポートを取りたい。

5.3.1 状況想定

あなたは修学旅行でアメリカ，カリフォルニア州のホテルに滞在しています。昨夜，念願のアメリカに着き，このホテルで一泊し，朝食を終えました。これから，みんなでディズニーランド観光に出かけます。バスが玄関で待っています。みんなは既にバスのところに行ったようです。あと10分でバスが出ます。

あなたは急いで携帯用バッグを持って部屋を出るのですが，パスポートを忘れたことを思い出します。もう一度部屋に入ろうとするのですが，鍵も中に置き忘れてあります。ドアは自動ロックが効いていて入れません。朝から下痢気味だったのが，焦ったせいか，またもよおしてきました。

さあ，フロントへ行ってどう言いますか。

5.3.2 MODEL ANSWER

Excuse me. I have a problem. I left my key and passport in my room. My room number is 213. (I'm in a hurry, because my bus is leaving for Disneyland in ten minutes.) Could you open the door for me, please? And one more thing. Could you tell me where the nearest rest room is?

5.3.3 DIALOG - I left my key in my room.

Traveler : Excuse me. I have a problem. I left my key (and passport) in my room.

[I've locked myself out.]

Clerk : What is your room number?

Traveler : My room number is 213.

Clerk : All right. I'll have someone take care of it right away.

Traveler : Thank you. Well, I'd like to use the rest room first.

Could you tell me where the nearest rest room is?

Clerk : Sure. It's at the end of this hall, on the left side.

5.4 目的

ホテルのフロントで、おいしいレストランを教えてください。

5.4.1 状況想定

あなたは今ホテルのフロントの前にいます。ホテル外のレストランで食事がしたいと思いますが、どこにおいしいレストランがあるのかわかりません。

だんだんとおなかが空いてきました。本当はステーキが食べたいのですが、贅沢を言われてはいられません。どんな食べ物でもいいから、早く胃に送り込みたいと思っています。

さあ、フロントの人にどう言いますか。

(RESERVATIONを頼むところまでいれてもよいが、少し難しいかもしれない。)

5.4.2 MODEL ANSWER

Could you recommend a nice restaurant near here? At first I wanted to eat an American steak, but any kind of food will be all right now.

5.4.3 DIALOG - Asking about a nice restaurant

(At the front desk of a hotel)

Clerk : May I help you?

Traveler : Yes, please. Could you recommend a nice restaurant near here?

Clerk : What kind of food would you like?

Traveler : Any kind.

Clerk : Hmm . . . There is a steak house two blocks down along Mason street, and a fish restaurant named Cabron in the back of the south parking lot.

(Traveler : OK. A steak house is two blocks down this way, and a fish restaurant is right behind that parking lot?

[that parking lot. Right?]

[Is that right? / Am I right?])

5.5 目的

レストランで、何を注文すればよいのかわからないので考える時間が欲しい。隣のテーブルの人が食べている料理も参考にしたい。

5.5.1 状況想定

夜、あなたは、数人の友達と一緒にレストランに行きます。海辺にあるとてもすばらしいレストランです。席に案内されてメニューが手渡され、しばらくすると、栗毛色の髪に青い目をした20才前後のウエイトレスがやってきます。

アメリカのレストランでの食事は初めてなので、何を注文すればよいかわかりません。メニューをもう少し見る時間が欲しいのです。隣のテーブルを見ると、おいしそうな料理をアメリカ人の若いカップルが食べています。参考までに、何を食べているのか知りたくなります。

さあ、美人のウエイトレスに何と言いますか。

5.5.2 MODEL ANSWER

I'm not ready to order yet. Could you give me some more time? Oh, by the way, the food on the next table looks good. Would you tell me what it is?

5.5.3 DIALOG - What to order?

(At a restaurant)

Waitress : Good evening. Are you ready to order?

Traveler : No, not yet. I'd like to take some time to think about.

Waitress : All right. Please take your time. I'll be around a little later.

Traveler : Thank you. Oh, wait . . . the food on the next table looks good.

[By the way,]

What is that?

Waitress : That's today's special, grilled pork chops.

(Traveler : Oh, thank you. I might have that one . . . grilled pork chops, . . . right?)

5.6 目的

郵便局から日本へ絵はがきと手紙を出したいので、切手を買いたい。何日で届くかも知りたい。

5.6.1 状況想定

あなたは、日本に絵葉書や手紙を出したいのですが、どこに売っているのかわかりませんでした。やっとスーパーマーケットで葉書や便箋等を見つけて便りを書き、郵便局にやってきました。

まず、絵はがきと手紙の切手を買いたいのです。切手の枚数は各自で考えて下さい。それから、日本に届くのにどれくらいかかるか知りたいと思います。また、他に知りたいことがあれば自由に聞いて下さい。

さて、郵便局の窓口でどう言いますか。

5.6.2 MODEL ANSWER

I'd like to buy some stamps to Japan: two stamps for letters and four for postcards. Could you tell me how much each stamp costs and how long a letter or a postcard will take to get to Japan?

5.6.3 DIALOG - How much is the postage?

(At a post office)

Traveler : How much is the postage to Japan?

Officer : By air, it's forty-five cents for a letter and thirty-six cents for a postcard.

Traveler : I want two forty-five-cent stamps and four thirty-six-cent stamps.

Officer : OK. Two forty-five-cent stamps and four thirty-six-cent stamps.

That'll be two dollars and thirty-four cents.

Traveler : OK. Here you are. By the way, how long will it take for them to get to Japan?

Officer : [They'll take] About a week.

5.7 目的

自己紹介をする。ハンサムな男性，あるいは美女と近づきになりたい。

5.7.1 状況想定

アメリカの高校のカフェテリアに昼食に来ました。生徒には白人，黒人，東洋系，中南米系と多くの人種や系統が入り交じっています。彼らは，お互いに気の合う仲間を見つけて座っています。

隅の方のテーブルに，ハンサムなアメリカ人男子 [かわいいアメリカの女の子] が座っています。いま，座ったばかりのようで，まだ誰も同席していません。知り合いになりたいと思います。一人で行くのが恥ずかしい人は友達を誘って一緒に行ってもいいです。

さて，彼 [彼女] のところに行って何と言いますか。

5.7.2 MODEL ANSWER

Hello. May I sit here? My name is Takeshi and I'm from Japan? I'm with my classmates. We're on a two-week tour in this country and arrived here the day before yesterday. This is my first time to eat here. There are so many students eating in this cafeteria, aren't there? If you don't mind, could you tell me your name?

5.7.3 DIALOG - Introducing yourself

Traveler : Hello. May I sit here?

Cathy : Yes, please. [Go ahead.]

Traveler : My name is Takeshi. What's yours?

Cathy : My name is Cathy.

Traveler : Nice to meet you, Cathy.

Cathy : Nice to meet you, Takeshi. Where are you from?

Traveler : I'm from Japan. This is my first time to see you in this cafeteria.

Cathy : Oh, really? I always eat here. I've seen you eating with some other Japanese.

5.8 目的

写真を撮ってもらおう。そのあと一緒に写真に収まりたい。

5.8.1 状況想定

フロリダのジャクソンビルから少し南に下ったところにある砦にやってきました。昔、スペイン人が造った砦で、大西洋に臨んでいます。砦の上に登ると、そこは広くて見晴らしもよく、数門の大砲が置いてあります。アメリカ人の観光客が歩き回ったり、海を眺めたり、記念撮影をしたりしています。

あなたはフルオートマチック・カメラ（自動焦点カメラ）を持っています。写真を撮りたいのですが、一人ですから、誰かに頼まないといけません。幸い、すぐそばにじっと海を見ているかわいい女の子 [ハンサムな青年] がいます。自分の写真を撮ってもらったあと、その人と記念撮影をしたいと思います。

さて、どう話しかけますか。

5.8.2 MODEL ANSWER

Excuse me. Could you take a picture of me? [I hope you don't mind taking a picture of me.] It's not difficult. This is auto-focus, so all you have to do is push this button. And after you finish taking my picture, I'd like to take a picture with you. It'll be a good memory for me. Do you mind?

5.8.3 DIALOG - Asking someone to take a picture of you

Traveler : Excuse me. Would you take a picture of me?

[Would you mind taking . . .?]

Tourist : Sure. [OK. / Certainly. / No, I wouldn't.]

Traveler : This is auto-focus, so just push this button, please.

Tourist : OK. Here we go. Smile. [Cheese.]

Traveler : Thank you very much.

Well . . . I'm wondering whether I can take a picture with you.

[. . . would you mind if I ask you to take a picture with me?]

Tourist : Sure. [Why not? / OK. / No, I wouldn't. / No, not at all.]

Traveler : Oh, I'm glad to hear that.

(to another tourist)

Excuse me. Would you take a picture of us, please?

[Would you mind taking ...?]

5.9 目的

おみやげを買う。お奨め品は？

5.9.1 状況想定

日本へ帰る日が近づきました。おみやげを買おうと思って、モール（屋根続きで冷暖房付きの大ショッピングセンター）の中にあるモントゴメリーというデパートに来ました。

お父さんとお母さんに何か適当なアメリカのおみやげを買おうと思います。おみやげ選びには頭を悩ませます。おみやげを探してこの店に来るのは、これで2回目です。しかし、色々な品物が置いてあって、いまだに何がよいのかさっぱりわかりません。店員さんに聞いてみることにします。（お父さん・お母さんへのおみやげが決まっている人は、それらを買ったあと、友達や兄弟・親戚などへのおみやげに、店員さんに尋ねて適当なものを買って下さい。）

さて、どう言いますか。

5.9.2 MODEL ANSWER

I'm looking for souvenirs for my father and mother, and this is my second visit here. But there are so many things in this department store that I can hardly decide what to buy even now. Could you recommend good American souvenirs, please?

5.9.3 DIALOG - Could you recommend me something?

Clerk : Good afternoon, sir. May I help you?

Traveler : Yes, please. I'm looking for something as a souvenir.

[a souvenir.]

Could you recommend something?

[Do you have something that you can recommend me?]

Clerk : With pleasure. Will it be a gift for a lady or a gentleman?

Traveler : They'll be gifts for my mother and father.

Clerk : All right. How about this pepper grinder for your mother?

This is popular among housewives these days.

Traveler : Oh, this is nice. I'll take it. What do you think will be good for my father?

Clerk : Let me see. I think your father would love to have a nice American tie.

Would you like to see some of them?

(Traveler : Yes, a tie can be a good souvenir for him.

Thank you for your help. [Thanks a lot.]

5.10 目的

買った品物を返品したい。

5.10.1 状況想定

モールと呼ばれる大きなショッピング・センターに行き、Tシャツを買いました。いいものを買ったと喜んでホテルに戻って着てみると、サイズが大きいのです。日本のサイズ（L・M・S）で選んだのですが、こちらの人たちは全体的に大きいため、一つ下のサイズを選ぶ必要があったようです。一遍に気分が重くなりました。もう一度行かなければなりません。

翌朝、品物を持って返品に来ました。店が開くのを待ちかねて店内に入りました。さて、店員さんにどう言いますか。

5.10.2 MODEL ANSWER

I bought this shirt here yesterday, but this is a little too large for me, so I'd like to exchange it for a smaller one. I really like this kind. In case you don't have the smaller size, I'll try to find another shirt. But if I can't find another shirt I like, is it possible for me to get my money back?

5.10.3 DIALOG - I'd like to exchange it for another shirt.

Clerk : May I help you, sir?

Traveler : Yes, please.

I bought this shirt here yesterday, but this is a little too large for me, so I'd like to exchange it for a smaller one.

Clerk : All right. This is a large. You'd like a medium then.

(looking for a medium)

I'm sorry. We don't have mediums now.

[We run out of mediums now.]

We'll have to order it, if you don't mind waiting about a week.

Traveler : Oh, I'm leaving this country in three days.

OK, I'll buy another shirt. Can I take some time?

Clerk : Sure. Let me know when you find one.

[If you can't find any shirt that you like, don't hesitate to tell me.

We'll return your money.]

Traveler : Yes, I will. Thank you. [Oh, thank you.]

5.11 目的

歯医者で痛む歯を説明する。「歯を抜かないで！」

5.11.1 状況想定

歯が痛んで昨夜はよく眠れませんでした。こういうことが無いように日本で掛かり付けの歯医者でチェックしてもらったのにと、悔しく思います。とにかく、ホテルで救急の予約を取ってもらい、歯科医院にやってきました。

不安な気持ちで待合室で待ったあと、診察室に呼ばれ、診療台に横になります。間もなくドクターがやってきます。自分の症状(どこが痛いのかなど)を説明しないとイケません。ところで、あなたは英語に自信がありませんから、言葉が通じなかったために歯を抜かれては困ります。つまり、歯医者さんに抜いたほうがいいだろうと言われて、わからないまま同意してしまう、ということを恐れるのです。

さて、歯医者さんに何と言いますか。

5.11.2 MODEL ANSWER

My tooth has been aching a little [acutely] since the day before yesterday. I think it's the second tooth from the right on the bottom [top]. I don't understand English well, doctor. [I don't have much confidence in my English, doctor.] So whatever I say or agree with, please don't pull out my tooth.

5.11.3 DIALOG - Never pull out my tooth.

Doctor : Good afternoon. What seems to be the problem?

Traveler : Well, doctor. My tooth has been aching a little [acutely] since the day before yesterday. I think it's the second tooth from the right on the bottom [top].

Doctor : OK. I'll check [see]. Ah-huh! There is a big decay in your tooth.

Traveler : What does decay mean?

Doctor : It's a deterioration in a tooth caused by bacteria.

Traveler : Well, doctor. I don't understand English well, so whatever I say or agree, never pull out my tooth, please.

6 . まとめ

以上に紹介した旅行ダイアローグを組み込んだ状況想定発話方式の授業計画も、その内容も、一応標準的なものとしたので、学習者の習熟度や意欲、また学習の環境や所要時間等に合わせて変化させても構わない。人間による人間を相手の指導なので、さまざまな要因によってその都度変わらないほうがおかしいとも言えよう。

現に筆者の授業においても、学習が進むにつれて、「今度はモノローグではなくて、ダイアローグをつくってみたい」という意見が出始めた。挙手で彼らの気持ちを問うと、大多数が賛成であった。“文章を書く(創作)”は、先のアンケート調査では希望順位が10位とあまり高くなかったのだが、この学習によって創作意欲が掻き立てられたようだ。

学習者の想像力に訴えて、未だ経験していない状況を疑似体験させる。そうして、彼らの創造性を目覚めさせながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養ってゆく。合わせて、英語で表現する際の基礎的な学習事項を身につけさせる。それが、真の意味でのコミュニケーション能力の育成につながると信じている。

参考文献

- 伊藤嘉一 『英語教授法のすべて』 大修館書店 1990.
- 新野さちえ 「自己表現力につながる発話能力の育成」 『英語教育』 大修館書店
Vol.40, No. 6, August 1991, 20-22.
- 田中春美 「現実的場面と自然な対話を通して学ぶ英語 - Dick Viaの演劇学習法」 『英
語教育』 大修館書店 Vol.26, No. 5, August 1977, 12-15.
- 土屋澄男 「発話に対する生徒のストレスを和らげる」 『英語教育』 大修館書店
Vol.40, No. 6, August 1991, 14-16.
- 文部省 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』 教育出版 1989.
- Hymes, Dell. *Foundations in Sociolinguistics: An Ethnographic Approach*. Philadelphia: Univ.
of Pennsylvania Press, 1974.
- Ikeuchi, Takeshi. "Developing the Speaking Skill in Large Classes through Writing." *ARELE*
Vol. 3 1992, 71-80.
- Johnson, Keith, and Keith Morrow, eds. *Communication in the Classroom*. Essex: Longman,
1981.
- Rivers, M. Wilga. *Teaching Foreign-Language Skills*. Chicago: Univ. of Chicago Press, 1968.
- Via, Richard A. "English through Drama." *English Teaching Forum* (Special Issue: The Art
of TESOL, Part 1). Vol.13, nos. 1-2, 1975, 158-162.
- Wilkins, D. A. *Notional Syllabuses*. Oxford: Oxford Univ. Press, 1976.

A Study of Teaching Materials Useful for Oral Communication Rousing Learners' Creativity

Takeshi Ikeuchi

Abstract

To cope with the surging waves of internationalization, teaching oral communication in English is now a prerequisite at high schools. Students should be encouraged to nurture the attitude to positively engage in the activity. It has been taught not only in *Oral Communication A, B, and C*, which was extensively introduced in the 1994 school year, but also in other subjects of English.

It now seems to be in greater need than ever before that teachers themselves should develop teaching materials adaptable to varied students' achievement levels and interests, not entirely relying on textbook-publishing companies.

This paper introduces some newly devised teaching materials considering students' interests and the way to use them. The materials are designed so as to develop students' abilities in oral communication rousing their creativity and using their writing to assist speaking.

高松大学紀要

第 32 号

平成11年 9月25日 印刷

平成11年 9月30日 発行

編集発行

高 松 大 学
高 松 短 期 大 学

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087) 841 - 3255

FAX (087) 841 - 3064